

# 第150回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年9月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,931	-1.80	0.21	4,063	-0.46	0.37
東部地区	14,277	-0.36	0.18	5,590	0.75	0.23
西部地区	10,857	0.77	-0.21	3,999	1.47	-0.14
駅南地区	6,390	-0.93	-0.21	2,657	0.98	-0.37
半田地区	3,575	0.44	0.00	1,318	1.46	0.15
横山地区	5,664	-0.28	-0.07	1,845	0.16	0.16
茨目・田尻地区	6,926	0.46	0.23	2,293	-0.04	0.04
荒浜地区	5,216	-0.64	-0.13	2,023	0.54	-0.19
その他地区	21,319	-1.67	-0.17	7,177	-0.20	0.01
西山町地区	6,419	-1.74	-0.15	2,143	-0.37	-0.09
高柳町地区	2,003	-3.23	-0.34	840	-1.40	-0.59
柏崎市計	92,577	-0.81	-0.04	33,948	0.30	0.02
刈羽村	4,950	-0.72	-0.10	1,539	1.58	0.00
小国地区（長岡市）	6,568	-1.20	0.07	2,166	0.60	0.13
出雲崎町	5,290	-1.58	0.09	1,829	0.21	0.27
合計	109,385	-0.86	-0.03	39,482	0.36	0.04

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で759人、0.81％、刈羽村で36人、0.72％、小国地区（長岡市）で80人、1.20％、出雲崎町で85人、1.58％とそれぞれ減少し、全体では960人、0.86％の減少となった。

また、前月比においても、小国地区で5人、0.07％、出雲崎町で5人、0.09％と増加したものの、柏崎市で39人、0.04％、刈羽村で5人、0.10％、と減少したことから、全体では34人、0.03％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では柏崎市で104世帯、0.30％、刈羽村で24世帯、1.58％、小国地区で13世帯、0.60％、出雲崎町で4世帯、0.21％と増加し、全体では145世帯、0.36％と増加している。

また、前月比においても、柏崎市で8世帯、0.02％、小国地区で3世帯、0.13％、出雲崎町で5世帯、0.27％と増加したことから、全体では16世帯、0.04％の増加となった。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,057		-13.00		2.82	
月間有効求職者	1,043		-8.02		5.03	
月間有効求人倍率	1.01	0.75	-0.06*	-0.29*	-0.03*	0.00*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,057人と前年同月比で158人、13.00％の大幅な減少となったものの、前月比では29人、2.82％と増加している。

一方、月間有効求職者数も1,043人と前年同月比で91人、8.02％と減少したが、前月比では50人、5.03％と増加した。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.01倍と前年同月比で0.06ポイント下回り、前月比でも0.03ポイント下回っている。なお、県平均0.75倍に対しては0.26ポイント上回った。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が382人と前年同月比で49人、11.37％の大幅な減少、月間新規求職者数も309人と前年同月比で32人、9.38％と減少した結果、月間新規求人倍率は1.24倍と前年同月の1.26倍に対して0.02ポイント下回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年9月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	74	29	-3	574	436
共 同 住 宅	2	2	2	4	-3
事 務 所	0	-1	-1	6	2
作 業 所・工 場	3	0	2	13	0
営 業 建 物	0	-1	-2	24	10
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	10	-4	4	74	19
合 計	89	25	2	696	464

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が89件と前年同月比で25件の増加、前月比でも2件の増加となっている。工種別内訳の主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）が29件の大幅な増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が48件、増築が33件、改築が8件となっている。また、一般住宅（併用）74件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が50件（うち新築22件、増築22件、改築6件）、市外施工業者が22件（うち新築15件、増築5件、改築2件）、未定が2件となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,198	1.69	-0.06	17,819	-1.41	-15.29
電 力	11,383	-3.37	-1.85	49,338	-3.48	2.66

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,106口、1.69%の増加となったものの、前月比では41口、0.06%の減少となった。一方、電力では前年同月比で398口、3.37%の減少、前月比でも215口、1.85%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で255千kwh、1.41%の減少、前月比では3,218千kwh、15.29%と大幅に減少している。一方、電力は前年同月比で1,781千kwh、3.48%の減少となったが、前月比では1,280千kwh、2.66%の増加となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	705,774	11.78	-2.35	761,211	22.20	-1.26
営 業 用	200,633	-3.57	-22.23	144,842	33.09	-5.99
工 場 用	800,785	20.72	9.23	160,484	4.48	5.74
官 公 学 校 用	348,404	-3.05	-20.67	92,216	18.68	-14.78
そ の 他				193	348.83	-12.27
合 計	2,055,596	10.38	-4.52	1,158,946	20.33	-2.22

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で193,412m<sup>3</sup>、10.38%と大幅に増加したものの、前月比では97,507m<sup>3</sup>、4.52%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用、家庭用で大幅に増加、前月比では工場用を除く全ての用途で減少している。

一方、水道給水量においても、前年同月比では195,863m<sup>3</sup>、20.33%の大幅な増加となったが、前月比では26,322m<sup>3</sup>、2.22%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で増加となり、前月比では工場用を除く全ての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	95,572	9.90	-0.28	98,987	12.54	-2.40
西 山	66,229	28.88	-3.45	63,161	34.53	-6.88
米 山	28,915	9.02	-26.06	27,497	8.27	-20.28
合 計	190,716	15.68	-6.30	189,645	18.31	-6.92

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年の中越沖地震の影響から前年同月比で25,851台、15.68%の大幅な増加となったが、前月比では12,833台、6.30%と減少している。

一方、出口においても同様に、全体では前年同月比で29,352台、18.31%と大幅に増加したが、前月比では14,107台、6.92%の減少となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターの入口・出口で大幅に増加、前月比では全てのインターの入口・出口で減少している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	345,628	1.27	-3.00	149,673	6.62	3.67
平 残	349,811	3.49	-0.93	143,577	4.73	1.13

預金は、末残が前年同月比で4,344百万円、1.27%の増加となったものの、前月比では10,694百万円、3.00%と減少している。また、平残においても前年同月比で11,824百万円、3.49%と増加したが、前月比では3,315百万円、0.93%の減少となった。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で9,305百万円、6.62%の増加、前月比でも5,300百万円、3.67%と増加している。また、平残においても、前年同月比で6,491百万円、4.73%の増加、前月比でも1,616百万円、1.13%の増加となっている。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,819	23.99	23.94
交 換 金 額	5,534	68.05	50.77
不 渡 り 手 形 枚 数	0	0.00	-100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	-100.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月及び前月の休日要因から、前年同月比で1,126枚、23.99%と大幅に増加、前月比でも1,124枚、23.94%と大幅に増加している。また、交換金額も同様の要因から前年同月比で2,241百万円、68.05%の大幅な増加、前月比でも1,864百万円、50.77%と大幅に増加した。なお、不渡手形は発生していない。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は4件（前年同月0件、前月4件）、負債総額82億円（同0億円、同2億円）、1件当たりの負債額20億円（同0億円、同0.5億円）となった。地区別では下越地区で3件（新潟市2件、新発田市1件）、中越地区で1件（長岡市1件）発生し、上越地区では発生していない。業種別は建設業2件、製造業2件で、倒産原因別の状況は販売不振3件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は4件、負債総額で82億円と前年同月比では前年同月で倒産発生がなかったため、件数で4件増加、負債総額では82億円の大幅な増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は、（株）プロデュース（長岡市、負債総額74億円）が民事再生法の決定を受けたため1件発生している。

経済状況は、全般的に仕入れ価格の高騰の影響による倒産が今後も増加する可能性は高いと思われ、また生活に身近な製品の値上がりを受けて個人消費の伸び悩みも懸念されている。

一方、米国発の金融危機の影響による外需の減速など先行き警戒感の高いことから、今後の倒産件数も高水準で推移していく可能性は高まっている。